



岩国医療センターだより

2025年7・8月号 VOL.160

ご自由にお持ちください。



2025年 新人研修医

もくじ

② 新任医師・レジデントの紹介

④ 新人研修医の紹介

第11回 愛宕ウォーキング

⑥ 【看護部だより】

『緩和ケアセンター』のご紹介

⑦ 【看護学校】

ナイチンゲール生誕祭

⑧ インフォメーション

第6回 診療看護師の紹介 他

新任医師・レジデントの紹介

New doctors

4月に着任した医師を紹介します。(順不同)

①趣味・特技 ②自己PR・メッセージ

外科 医師

大倉 友博 (おおくら ともひろ)



専門領域：消化器外科

- ①スポーツ観戦
- ②患者様に寄り添い、丁寧な診療を行ってまいります。

消化器内科 医師

原田 圭 (はらだ けい)



専門領域：胆膵

- ①旅行
- ②地域のみなさまのお役に立てるよう、精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。

小児科 医師

清水 雄一 (しみず ゆういち)



専門領域：小児科

- ①バスケットボール
- ②子どもの健康のために適確な診療を行って参ります。よろしくお願いします。

外科 医師

益永 あかり (ますなが あかり)

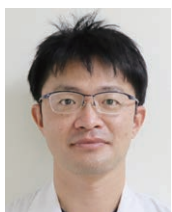


専門領域：消化器外科

- ①映画鑑賞、読書
- ②地域の皆様のお役に立てるよう日々精進しますので、よろしくお願い致します。

外科 医師

堀 直人 (ほり なおと)



専門領域：大腸癌、低侵襲手術

- ①テニス、スノボ
- ②鳥取で7年働いたのち久々に山陽に帰ってきました。大腸癌に対する低侵襲手術(腹腔鏡・ロボット)を通じて、地域の医療に貢献できるよう精進してまいります。

循環器内科 医師

高原 津 (たかはら しん)



専門領域：循環器一般

- ①旅行
- ②患者さんに寄り添った治療を心がけます。

小児科 医師

藤本 洋輔 (ふじもと ようすけ)



専門領域：新生児集中治療

- ①子供と遊ぶこと、サッカー観戦
- ②私は岩国市出身であり、地元で働けることをとてもうれしく思います。子供たちが健やかに育ち、そのご家族が安心して生活するためのサポートができたかと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

循環器内科 レジデント

湖山 恵多 (こやま けいた)



- ①ピアノ、歌唱
- ②丁寧な診療を心がけます。どうぞよろしくお願いいたします。

外科 レジデント 岡 詠吾 (おか えいご)



- ①スポーツ観戦、旅行
- ②丁寧な診察・診療を心がけていきますので、どうぞ宜しくお願い致します。

呼吸器内科 レジデント

緒方 裕理 (おがた ひろみち)



- ①温泉旅行
- ②およそ10年ぶりに山口県へ戻ってきました。山口の医療に貢献できるよう努めてまいります。

呼吸器内科 レジデント

大後戸 智也 (おおせど ともや)



専門領域：呼吸器内科

- ①旅行、カメラ
- ②丁寧な説明を心がけ、患者さん本人とご家族にとって納得のいく医療を提供できるよう頑張ります。

循環器内科 レジデント

ベリー 万知 (ベリー まち)



- ①筋トレ、旅
- ②患者さんのお話にしっかりと耳を傾けて丁寧な診療を心がけます。地域の皆さまのお力になれるよう頑張ります。

脳神経外科 レジデント

小谷 勇人 (こたに はやと)



- ①メダカ飼育
- ②岩国の医療に貢献できますよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

形成外科 レジデント

保崎 泰人 (ほさき たいと)



- ①カラオケ、旅行、温泉・サウナ、音楽ライブ・フェス
- ②はじめまして、保崎と申します。患者さんを満足させられるように、丁寧に綺麗な縫合を心がけて、今後とも精進させていただきます。よろしくお願い致します。

泌尿器科 レジデント

東端 政樹 (ひがしばた まさき)



専門領域：泌尿器科

- ①映画、サウナ
- ②患者様に寄り添った丁寧な診療を心がけます。



インフォメーション

『ほっとサロン虹』のご案内

がん患者さんやご家族の皆様が病気や暮らしなど気になること、相談したいことなど、お話ができる場です。事前申込み不要ですので、お気軽にご参加ください。(地域医療連携室)

開催日	テーマ	講師
7月18日	お坊さんカフェ	臨床宗教師
9月19日	がんゲノム医療	がんゲノム医療外来医師 久山医師



開催日時：毎月第3金曜日(8月を除く) 14:00～15:00
場所：2階患者図書室
対象：がん患者さんとご家族(院外の方も参加できます)

※急遽、予定が変わる場合がございますので、当院ホームページにてご確認ください。

岩国医療センターほっとサロン虹 検索

新人研修医の紹介

Medical intern

4月に着任した研修医を紹介します。(順不同)

①趣味・特技 ②医師になろうと思ったきっかけ・コメント



(のとはら あきひと)

能登原 彬人

① サイクリング、
コーヒードリップ

② 人の病気を顕微鏡で見ることが病気がさらに深く分かるのが面白かったことが医師になりたいと思ったきっかけです。今は臨床医も面白いと思っています。



(にいたに なおや)

仁井谷 尚哉

① ギター、釣り

② 祖父母が亡くなった時に医学に興味を持ち医師を志しました。未熟者ですが、一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。



(まんき しゅん)

萬木 駿

① ドライブ、麻雀

② 幼い頃から医師である父の姿を見て憧れを抱き、医師を志しました。患者さんに寄り添い、信頼される医師になれるよう努力してまいります。



(わたなべ りんたろう)

渡邊 麟太郎

① 釣り、スキー

② 小さい頃見た縫合に胸を膨らませて医者になりました。初期研修の2年間が楽しかったと言えるように毎日全力で医療に向きあっていきたいと思っています。



(おおの ゆうか)

大野 結香

① 美味しいお店探し、
油絵、読書

② まだまだ分からないことばかりですが、1つずつ目の前のことをしっかり学んで、頼りにできる存在になれるよう努めていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



(いわみ たいき)

岩見 大輝

① 読書、映画鑑賞

② 人の健康を支える医療に携わりたいと考え、医師を志望しました。まだできることは少ないですが、1つずつ増やしていきたいです。よろしくお願いいたします。



(やまね しゅうと)

山根 周斗

① 卓球、散歩

② 人の役に立ちたいと思い志しました。日々学びながら、岩国の医療に貢献できるように成長していきたいと思っています。何卒よろしくお願いいたします。



(たるたに かなこ)

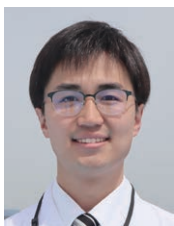
樽谷 佳菜子

① 食べ歩き

② 祖父がかかっていた多系統萎縮症という病気の原因と治療法を解明したくて。



今月号表紙は新人研修医です。
(正面玄関側の桜の木の前で撮影)



(たなかや かずき)
田中屋 和暉

① 趣味：サッカー観戦
特技：早起き

② ものごころついた時から、
医師になる道しか残されていませんでした！
岩国の皆さんの健康と笑顔をまもれるように頑
張ります！



(いしはら なおと)
石原 直人

① 旅行

② 困っている人の力になれる
仕事をしたいと思い、医師を目指しました。
信頼される医師を目指して、日々学び続けて
いきたいです。



(すずき しゅうと)
鈴木 脩斗

① 球技、読書、マラソン

② 身近にいる人をどんな時も
支えられるような存在に憧れて
医師を目指しました。誠実に患者さんに向き合う
姿勢を忘れず、皆様に支えられながら一歩ずつ
成長していきたいと思います。よろしくお願いします。



(ひらた しんいち)
平田 真一

① ラジオ、F1 観戦、
アイスホッケー

② 人と関わるのが好きで
医師を志しました。岩国市民の皆様に貢献す
るとともに、私自身の成長も目指して精一杯
研鑽を積んで参ります。

第11回 愛宕ウォーキング

愛宕ウォーキングは、新入職員との親睦を深める為に毎年
行われている山道などを歩くイベントです。

2025年
4月5日(土)



今回は山コースです。

当院出発～おしゃべりしながら山道を歩き～塔ヶ森にてお昼
ご飯は山賊弁当、自己紹介・記念撮影などして～帰りは JR
玖珂駅から電車で帰ってきました。医師や職員など 32 名が
参加し、いい汗をかきました！

コース

岩国医療センター 7:50 出発
→ JR 柱野駅 9:20 着
→ 欽明路峠 10:40 着
→ 塔ヶ森 11:30 着～昼休憩～
→ JR 玖珂駅 14:10 着
→ 岩国医療センター、全行程約 20km





「緩和ケアセンター」のご紹介

～岩国医療センター 緩和ケアセンターの理念～

「私たちは、がんと共に生きる人がその人らしく生活できるように支援いたします」



緩和ケアセンター看護師長
寺戸 純子

緩和ケアセンターの役割

緩和ケアセンターは、治ることが難しい悪性腫瘍（がん）の患者さんご家族の抱える痛みや不安などの心身の苦痛を積極的に取り除くことを目指しています。医師・看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士・心理臨床士・医療ソーシャルワーカーが主なメンバーとなり、患者さんご家族のニーズやご希望に沿ったケアをさせていただきます。

ここでは、治癒を目指した治療を行うことはありませんが、病気の進行に伴う様々な苦痛に対して、それらを和らげる治療・ケアを積極的行います。

ご家族との時間を大切にできるように、全室個室でゆったりと過ごせるように環境を整えて、患者さんが安心してケアを受けられることを大切にしています。

緩和ケアセンター看護師の役割

緩和ケアセンターのスタッフは、症状緩和、その人らしさを大切に日常生活の援助と家族へのサポートに努めています。また、患者さん、ご家族の希望を把握し、環境を整えて、多職種間での調整役をしています。

岩国医療センターでは、痛みをはじめとした、がんによる苦痛に対する専門的な緩和ケアの知識、技能、態度を修得し、実践する「緩和ケア研修会」を受講した医師や看護師、薬剤師、栄養士がいます。緩和ケア認定看護師も2名配属され、各々の専門性を活かして、患者さんご家族により良いサポートを行っていきます。

緩和ケアセンターの病室と設備

当院の緩和ケアセンターは最上階に位置し、病室はすべて個室で24床トイレやシャワーも完備していますので、安心して過ごして頂けます。

また、快適な入院生活をお送り頂くために、特別室を2部屋用意しておりますので入院の際にはご検討ください。



緩和ケア病棟のイベント紹介

病棟でお過ごしの方々に、少しでも季節を感じて頂けるように年間を通して行事を行っております。



緩和ケアセンター入院相談の方法

下記の相談窓口へご連絡ください。

窓口	地域医療連携室がん相談支援センター または各診療科
場所	病院2階 地域医療連携室 がん相談支援センター
絡先	0827-35-5645
受付時間	平日 8時30分～17時

7月の第2・第4水曜日の10時より、緩和ケア病棟見学会も開催致します。興味や関心をお持ちの方は、お気軽にお越しください。

緩和ケア病棟をもっと知ろう

緩和ケア病棟 見学会のご案内

毎月第2・第4水曜日10時より開催中

集合場所：岩国医療センター
10階東緩和ケアセンター
ダイコナー

問い合わせ：がん相談支援センター
地域医療連携室
電話 0827-35-5645
8:30～17:00（土・日・祝を除く）

私たち、岩国医療センター緩和ケアセンタースタッフは、お一人お一人に寄り添い、患者さん・ご家族の皆様に穏やかな時間を過ごして頂ける、心温まる医療を提供したいと考えております。

ナイチンゲール 生誕祭

実行委員長 78 回生 新田 晴菜



5月2日に、ナイチンゲール生誕祭を実施いたしました。今年度のテーマは「小さな光が世界を変える」です。これはナイチンゲールのように、一人の力が大きな変化を生むという意味が込められています。



～点灯式～

ナイチンゲールの意思を受け継ぐ式典として「点灯式」を行いました。ナイチンゲール像から灯を受け継ぐことで、看護師としての使命感や責任感を新たに認識し、その自覚を深めることができました。

～講演会～

講演会では、黒葛和信(つづらかすのぶ)様にご講演いただきました。25歳という若さでパーキンソン病と向き合い、これまでの葛藤や不安、そして少しずつ支援を受け入れてこられた過程を、率直な言葉で語っていただいたことに、胸を打たれました。

「見えない苦しみ」へ目を向けること、自分の価値を見失わないことの大切さについて、改めて考えさせられました。看護学生として患者様の立場を理解し、看護の心を見つめ直す貴重な機会となりました。

～その他～

午後からは、人文字の撮影を行いました。今年度のテーマ「小さな光」から、多くの人の心が明るく、輝く未来が訪れるようにという思いを込め、学生全員で協力して「SHINE◆」という文字を完成させました。

その様子は当校のホームページに掲載予定ですので、ぜひご覧ください。

～モールの花束～

日頃から私たち学生のために実習を受け入れてくださっている患者様や病棟スタッフの皆様へ、感謝の気持ちと、笑顔で過ごしていただきたいという願いを込めて、モールで作った花束を贈呈しました。

ガーベラとチューリップをモールで作り、ガーベラの花言葉の「希望」とチューリップの花言葉の「思いやり」という花言葉から、将来看護師になる私たちが患者様やご家族に寄り添い、未来の希望を育む存在になるという思いを込めて作成しました。

多くの学生に協力してもらい、180本の花を作ることができました。



～イルミネーション～

病棟側の窓を使い、「HOPE」の文字と「ハート」と「羽」をイルミネーションで表現しました。

「HOPE」には病気と向き合っている患者様に希望を取り戻していただけるような場所を提供したいという思いを込めました。また「ハート」や「羽」には、思いやりや共感、患者様やご家族を大切にする気持ちを表現しました。学生たちが協力して、その想いを形にすることができました。リハビリ室から綺麗に見て頂くことができました。



第6回

診療看護師の紹介

今回は、診療看護師を紹介します。

診療看護師とは？

救急科 診療看護師 平田 祐太郎

診療看護師とは大学院にて医学を学び、これまで医師が実施していた医行為（点滴の投与量の調整など）に関して包括的に実施できる資格を持つ看護師のことです。医師が手術や外来、検査などで不在の場合においても、患者さんの全身状態を評価しながらタイムリーに最適な治療を展開できる特性を持っています。

私は看護師として10年以上の経験もあり、医学的視点と看護の視点を組み合わせることで身体面だけでなく心理・社会的側面も評価し、患者さんやご家族のニーズに対して早期に多職種とも連携しながら

対応するよう心がけています。

現在、主に救急外来や集中治療室（ICU）で活動していますが、一般病棟においても医師や看護師と連携を図りながら、必要時に応じて患者さんの診療や看護に介入するなど院内で組織横断的な活動をしています。

診療看護師は全国的にもまだ数少ない資格ではありますが、患者さんの早期回復に向け自分の特性を活かしながら、チーム医療の中心として活動していきたいと思っています。

楽しみは
グルメ巡り

スキルアップのため仲間と共に全国各地の研修や学会に参加しています！
ついでにご当地のグルメ巡りをすることが楽しみの1つです。



研修先でポーズ！

『看護師特定行為研修開講式』

2025年4月15日、看護師特定行為研修開講式が行われました。当院の受講者は2名で、約1年間当院で研修を受けます。終了時には試験・実習評価等があり、合格することが要件となります。

※当院は、特定行為研修を修了した看護師が複数在籍しています。



『特定行為とは...』

診療の補助で看護師が手順書により行う38の行為で、実践的な理解力、思考力・判断力、高度かつ専門的な知識・技能が特に必要とされるもの。

当院では救急領域における呼吸器関連（気道確保や人工呼吸療法に係るもの）など。例）気管チューブの位置の調整など



『看護の日』

2025年5月14日、当院3階外来フロアにて『看護の日』のイベントを行いました。

血圧・骨密度測定、物忘れテスト、感染・健康・お薬・栄養相談などを行い、多くの方に参加していただきました。

骨密度測定に来られる方が多く、また血圧測定には血圧の高い方で健康に関心がある方も来られていました。測定値を紙に書いてお渡しすると、そのままお薬相談に行かれる方もおられました。



物忘れが気になるという方も相談にされました。健康に関心はあるが、どうすればよいかわからない方など、気軽に相談できる場があることで、ご自身に向き合う良い機会ではなかったでしょうか。
「今日来て良かった！ 無料で受けられて良かった！」というお声もたくさん聞けました。職員にとっても地域の方々と触れ合える良い機会となりました。

5/12はナイチンゲール生誕の日。記念行事として当院看護部にて開催しました。